

令和 8 年度予算編成方針

令和 7 年 8 月 酒田市長

1 基本的な考え方

担い手の不足、小売店の閉鎖、空き家の増加など、本市が直面する課題の根本には人口減少があります。令和 7 年度施政方針において、所得向上や定住促進、共生社会の実現、安全・安心なまちづくり、時代に応じたまちづくりを重点化しましたが、依然として人口減少に歯止めはかからず、課題解決も道半ばです。

このため令和 8 年度においても、引き続き同じ 4 つの柱を重点化し、「人口減少を抑制しながら、一人ひとりが豊かに、幸せに、安心・安全に暮らせるまちを創る」という基本理念のもと、総合計画後期計画の実現に向け、令和 8 年度の予算を編成します。

2 重点化する取組み

(1) 豊かに暮らす～市民の所得向上と若者・女性の定住促進

物価高騰により家計が圧迫される中、安定した所得水準の確保が不可欠です。本市の人口減少の主因は若い世代の転出超過であり、若者は希望する職を求め、特に女性は固定的な性別役割分担から解放された環境を求めて都市部へ流出する傾向があります。このため、産業振興による所得向上を図るとともに、若者や女性が魅力を感じる職場や仕事の創出に注力します。さらに、市内需要の縮小を補うため、外貨獲得につながる観光振興や移出・輸出の拡大を推進します。

(2) 幸せに暮らす～市民一人ひとりに「居場所」と「出番」がある社会の実現

人口減少に対応するには、市民一人ひとりの力を活かすことが不可欠です。誰もが安心して存在できる「居場所」と、能力を発揮し社会に貢献できる「出番」を持つことが、生きがいや幸福感につながります。性別、年齢、障がいの有無、国籍などにかかわらず、多様な人々が力を発揮できる社会をめざし、とりわけ女性や若者、障がい者、外国出身者など、これまで声が届きにくかった方々の意見を丁寧に聴き、「誰一人取り残さない (No one left behind)」社会の実現に取り組みます。

(3) 安心・安全に暮らす～災害からの復旧・復興と安心・安全のまちづくり

令和 6 年 7 月の大雨災害からの復旧・復興を着実に進めるとともに、防災・減災対策を強化します。さらに、松くい虫被害や有害鳥獣の増加、空き家問題、買物弱者への対応、地域福祉施策など、多角的な取り組みにより、誰もが安心・安全に暮らせる地域環境を整えます。

(4) 令和の時代に暮らす～人口減少・気候変動・物価高騰等に対応したまちづくりの発想
「あるものを生かす」「兼ねる」「広域で考える」という理念のもと、公共施設の最適なあり方を検討し、コンパクト・プラス・ネットワークやデジタル化の推進により、人口減少社会に対応したまちづくりを進めます。また、再生可能エネルギーの地産地消や暑熱対策など、気候変動への対応を強化します。さらに、物価や人件費の高騰といった課題を踏まえ、その影響を受ける市民や団体への支援も実施します。

令和 8 年度酒田市施政方針

❖ 人口減少を抑制しながら、一人ひとりが豊かに、

幸せに、安心・安全に暮らせるまちを創る

<重点化する取組み>

- I 豊かに暮らす～市民の所得向上と若者・女性の定住促進～
- II 幸せに暮らす～市民一人ひとりに「居場所」と「出番」がある社会の実現～
- III 安心・安全に暮らす～災害からの復旧・復興と安心・安全のまちづくり～
- IV 令和の時代に暮らす

～人口減少・気候変動・物価高騰等に対応したまちづくりの発想～